

みなさん、おはようございます。いよいよ令和7年度が始まりました。

この1年、明日入学してくる新入生も含め、582人となる西高生の成長、活躍を祈っています。

今日から、それぞれ学年が上がり、新しい教室、新しいクラスメイトや先生、新たな後輩と様々な変化があります。学習、部活動などで切磋琢磨し、お互いに良い影響を与える存在であることを願っています。自分自身の頑張りはもちろんのこと、明日、希望と不安に満ちて入学してくる後輩の高校生活をしっかりと支えてあげてください。

2年生の皆さん、普通科ではコースが分かれ、理数探究科でも選択する科目によって、進もうとする道がより明確になってきました。日々の授業、家庭での学習を大切にして、希望進路の実現に向けて頑張りましょう。「授業を大切にする」とは、先生の話静静地に聞き、頑張ってノートを取るということだけでなく、最終的に自分の身につくような学び方をするということです。自分なりの学習方法を確立し、誤魔化しのない学びを積み上げていきましょう。

3年生の皆さん、いよいよ最終学年、最高学年です。一つひとつの行事、部活動の大会が高校生活最後のものとなります。悔いを残さないように挑んでほしいと思います。困難にぶつかっても諦めず、前向きな姿勢を忘れずに挑戦を続けた皆さんが有終の美を迎えることを楽しみにしています。西舞鶴高校の教職員一同、皆さんのことをサポートしていきますので、ともに歩んで行きましょう。

さて、昨年度3学期の式辞では、「私たちにとって最大の危険は、高い目標を目指して失敗することではなく、低い目標を目指して簡単に達成してしまうことである」という言葉を紹介し、高めの目標を持つことの大切さをお伝えしました。そして、学んだ知識や経験は、どこでどう生きるか分からない、だからこそ、学びの幅を自ら狭めずに、可能性を広げてほしいということもお話ししました。

この言葉を、皆さんはどのように受け止め、春休みを過ごしましたか。自分の目標を少し高く見直してみた人、自分にとっての「新しい挑戦」を考えた人もいるかもしれません。そうであれば非常に嬉しく思います。そうでなかった人がいるとすれば、新しい年度が始まるこの節目に、目標や挑戦について考えてみてください。高い目標を掲げること、幅広く学ぶこと、いずれも、日々の積み重ねと、全力で取り組む姿勢があってこそ意味を持ちます。結果がすぐに出ないこともあるでしょう。努力が報われないと感じることもあるかもしれません。でも、その経験の一つひとつが、将来の「思わぬ場面」で、皆さんを支えてくれるはずです。どんなに小さなことでも、「意味がない」と決めつけてしまわないでください。

西舞鶴高校は、みなさんの夢をかなえる場所です。西舞鶴高校での一日一日が、皆さんの夢の実現につながっています。本校が守り続けている「努力と友情」の精神を発揮し、皆さん一人ひとりの成長と挑戦に、私は心から期待しています。令和7年度、素晴らしい一年の始まりとなることを祈り、式辞といたします。

令和7年4月8日 京都府立西舞鶴高等学校

校長 田邊仁司